

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 藤商事

コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	41,892	34.0	7,533	35.7	7,604	35.4	3,724	17.0
24年3月期第3四半期	31,274	64.3	5,552	523.4	5,614	465.4	3,183	512.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14,958.87	—
24年3月期第3四半期	12,785.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	57,357	46,341	80.8
24年3月期	56,958	43,797	76.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 46,341百万円 24年3月期 43,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00
25年3月期	—	2,500.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	6.9	6,000	△17.8	6,000	△18.1	2,800	△31.5	11,247.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

・業績予想の修正については、本日(平成25年1月30日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	254,955 株	24年3月期	254,955 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,000 株	24年3月期	6,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	248,955 株	24年3月期3Q	248,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成25年1月30日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、回復傾向にありましたが、欧州の財政不安や新興国経済の成長鈍化および為替リスクなどにより、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、景気の不透明感を背景とした消費者のレジャーなどに対する節約志向が継続し、パチンコホール全体の経営環境は厳しい状況にあります。パチンコ遊技機では、1円パチンコに代表される低貸玉営業での遊技機の設置比率が上昇するとともに、従来からの営業形態での集客や稼働は低迷しており、収益面では厳しい状況が続いております。このため遊技機の購入につきましても慎重な姿勢により、人気機種の後継機種など、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として収益面は堅調に推移しており、引き続き需要は回復基調にあります。

このような状況のもと当社は、パチンコファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、新規性や独自性の追求などによる商品力の向上とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。

パチンコ遊技機につきましては、ホラージャンルの定着を狙った機種などのほか、第2四半期発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプを追加発売し、販売台数の確保に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高418億92百万円（対前年同期比34.0%増）、営業利益75億33百万円（同35.7%増）、経常利益76億4百万円（同35.4%増）、四半期純利益37億24百万円（同17.0%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、「CRオーメン」シリーズ（平成24年11月発売）、「CR龍玉八犬伝」シリーズ（平成24年12月発売）を市場投入したほか、第2四半期までに発売した「CR桃太郎侍 怒」の手軽に安く遊べるタイプを追加発売いたしました。

以上の結果、販売台数は127千台（対前年同期比28.5%増）、売上高414億53百万円（同34.8%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、当第3四半期につきましては新機種の発売はありませんでした。

以上の結果、販売台数は1千台（対前年同期比21.4%減）、売上高4億39百万円（同16.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ3億98百万円増加し、573億57百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が15億9百万円、前渡金が3億2百万円、繰延税金資産が2億1百万円増加したことなどに対し、現金及び預金が8億30百万円、原材料及び貯蔵品が6億57百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ21億45百万円減少し、110億15百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が19億54百万円、買掛金が6億38百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ25億44百万円増加し、463億41百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ8億30百万円減少し279億9百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、23億22百万円（前年同期は76億67百万円の資金の増加）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益67億32百万円、減価償却費15億69百万円などが増加の要因であり、法人税等の支払額51億25百万円、売上債権の増加額15億9百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、19億72百万円（前年同期は10億88百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入5億90百万円などが増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出12億33百万円、有形固定資産の取得による支出11億11百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11億80百万円（前年同期は11億15百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第4四半期における業績見通しおよび市況環境等を勘案し、通期業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日に公表した平成25年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,740	27,909
受取手形及び売掛金	5,701	7,210
有価証券	1,492	1,588
商品及び製品	27	53
原材料及び貯蔵品	3,225	2,567
前渡金	3,381	3,683
繰延税金資産	1,830	2,031
その他	144	128
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	44,534	45,162
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,076	2,039
機械及び装置（純額）	406	303
工具、器具及び備品（純額）	955	931
土地	3,778	3,231
その他（純額）	53	57
有形固定資産合計	7,270	6,563
無形固定資産		
投資その他の資産	179	190
長期前払費用	1,950	1,724
その他	3,302	3,995
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	4,973	5,441
固定資産合計	12,423	12,194
資産合計	56,958	57,357

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,344	4,706
未払法人税等	3,482	1,527
未払消費税等	589	199
賞与引当金	480	246
役員賞与引当金	180	—
その他	1,630	2,725
流動負債合計	11,707	9,405
固定負債		
退職給付引当金	768	782
その他	684	827
固定負債合計	1,453	1,609
負債合計	13,160	11,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	37,630	40,172
自己株式	△486	△486
株主資本合計	43,683	46,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114	116
評価・換算差額等合計	114	116
純資産合計	43,797	46,341
負債純資産合計	56,958	57,357

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	31,274	41,892
売上原価	16,227	22,837
売上総利益	15,046	19,055
販売費及び一般管理費	9,493	11,522
営業利益	5,552	7,533
営業外収益		
受取配当金	19	34
受取賃貸料	12	13
利用分量配当金	7	10
受取ロイヤリティー	12	15
還付加算金	35	—
その他	28	36
営業外収益合計	116	111
営業外費用		
シンジケートローン手数料	29	29
賃貸収入原価	12	3
その他	11	6
営業外費用合計	54	39
経常利益	5,614	7,604
特別利益		
固定資産売却益	182	0
特別利益合計	182	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	18	2
減損損失	—	850
投資有価証券評価損	53	18
特別損失合計	71	872
税引前四半期純利益	5,725	6,732
法人税、住民税及び事業税	2,036	3,218
法人税等調整額	505	△210
法人税等合計	2,542	3,008
四半期純利益	3,183	3,724

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,725	6,732
減価償却費	1,593	1,569
減損損失	—	850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56	△233
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△180
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11	13
受取利息及び受取配当金	△30	△48
固定資産売却損益 (△は益)	△182	0
固定資産除却損	18	2
投資有価証券評価損益 (△は益)	53	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,423	△1,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,233	631
未収消費税等の増減額 (△は増加)	337	—
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△91	△218
仕入債務の増減額 (△は減少)	△539	△315
未払金の増減額 (△は減少)	△337	627
未払消費税等の増減額 (△は減少)	478	△390
その他	△283	△160
小計	6,531	7,392
利息及び配当金の受取額	42	55
法人税等の支払額	△6	△5,125
法人税等の還付額	1,099	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,667	2,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△801	—
有価証券の償還による収入	2,500	590
有形固定資産の取得による支出	△1,250	△1,111
有形固定資産の売却による収入	752	0
無形固定資産の取得による支出	△42	△51
投資有価証券の取得による支出	△2,226	△1,233
その他の支出	△26	△191
その他の収入	6	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,088	△1,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,115	△1,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,115	△1,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,463	△830
現金及び現金同等物の期首残高	20,674	28,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,137	27,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。